

公明ひらつか



新たな公共サービスで創る 未来のまちづくり

永田 美典 議員

問 効率的・効果的な行政運営を行うための取り組みについて伺う。

市長 本市がチーム一丸となつて全体最適を実現していく。既存の事業や仕組みにとらわれない柔軟な発想を持って事務事業の徹底した見直しを行い、国県補助金の積極的な獲得や受益者負担の適正化などによる財源確保に努める。

問 子育て支援の強化充実に向けた政策フレームへ予算の配慮ができないか。

企画政策部長 平成29年度に開始する本市事業の大きな目玉の一つであり、本市を外にアピールしていく施策でもある。きめ細かく、重点的に取り組むたい。

見附台周辺地区 土地利用計画改訂 整備方針(素案)

問 供用開始までのスケジュールを伺う。

市長 崇善公民館は31年度に、(仮称)新文化センターは33年度に供用開始を目標にしている。

問 大ホールは1200席から1千席程度にスリム化しているが、文化創造拠点として満足できるのか。

市長 幅広いジャンルの公演に対応できる施設機能や併設する多目的ホールなどと連動した活用により、幅広い年齢層が芸術文化に触れ親しむことのできる質の高い整備を目指していく。

公共施設再編計画

問 削減目標に対する現状と見通しを伺う。

市長 市民に大きな影響がなく、民間主体でできるものや維持管理費が増加するものを中心に廃止や売却している。青少年会館・勤労会館・教育会館の統合などを着実に実行していく。

問 公共施設の包括管理を提案するが、見解を伺う。

企画政策部長 合理的なスケジュールメリットが生きる手

教育ビジョン

問 本市におけるいじめ防止の取り組みを伺う。

教育長 いじめはどの子供にも、どの学校でも起こりうることを考え、早期発見・早期解決に向けて取り組んでいる。認知件数は、小学校で764件、中学校で170件と方針策定前より増えているが、いじめの前兆と思われる事案も発見し、解決するという姿勢である。

問 7歳児の交通事故が突

法であると認識している。契約の在り方など、十分に検討していきたい。

障がい者スポーツの推進について

問 障がい者スポーツなどの普及啓発と課題を伺う。

教育長 スポーツに取り組みきっかけづくりに努めており、ポッチャの用具を購入した。情報や体験機会の不足、実践する人材や組織の把握などが課題である。

問 パラリンピックに向けて、本市らしさを感じる支援ができないか。

教育長 障がい者スポーツ情報の把握や発信に努め、県や関係団体などと連携し、推進していきたい。

市民病院のこれから



市民の期待に応えられる 市民病院の再建について

鈴木 晴男 議員

問 地域に必要なとされる医療、地域に貢献する医療をどのように提供するの。

市民病院事務局長 地域医療を安定的に提供していくためには、急性期病院が担うべき診療に絞り込まなければいけない。一方で、収支の採算を取ることが難しい分野とされる救急医療や小児・周産期医療などの地域に必要とされる医療、不足している医療も公立病院として担っていく。このほかに、医療の面から地域活動や人材育成などの社会貢献活動にも積極的に参加していく。

問 医療の質と安全性の向上を確保しつつ、コストを

下げる。35億円の貸し出し

出しているというデータがあるが、対策を伺う。

学校教育部長 交通安全の意識を子供なりに高めてもらうことは重要なことであり、一層強めていきたい。

問 小中一貫教育に向けた現状を伺う。

教育長 29年度から研究指定校を定め、これまでより一歩進んだ研究を進める。

問 コミュニティ・スクールに向けた方針を伺う。

教育指導担当部長 学校と地域が一体となった平塚版とも言える取り組みができている。引き続き研究を進めていきたい。

障がい者スポーツの推進について

問 障がい者スポーツなどの普及啓発と課題を伺う。

教育長 スポーツに取り組みきっかけづくりに努めており、ポッチャの用具を購入した。情報や体験機会の不足、実践する人材や組織の把握などが課題である。

問 パラリンピックに向けて、本市らしさを感じる支援ができないか。

教育長 障がい者スポーツ情報の把握や発信に努め、県や関係団体などと連携し、推進していきたい。

さまざまな分野における 女性の活躍推進



伊東 尚美 議員

問 新たな男女共同参画プランの特長を伺う。

市民部長 男女がともに活躍できる社会の実現を目標に掲げ、イクボスの推進と防災分野における女性参画の推進を位置付けている。

障がい者スポーツの推進について

問 障がい者スポーツなどの普及啓発と課題を伺う。

教育長 スポーツに取り組みきっかけづくりに努めており、ポッチャの用具を購入した。情報や体験機会の不足、実践する人材や組織の把握などが課題である。

問 パラリンピックに向けて、本市らしさを感じる支援ができないか。

教育長 障がい者スポーツ情報の把握や発信に努め、県や関係団体などと連携し、推進していきたい。

食品ロス削減への取り組み

問 家庭から出る食品ロスの試算を伺う。

環境部長 ごみの組成などから1人当たり1日に40から70グラムとなる。

問 家庭で余っている食品を集め、生活困窮者などへ届けるフードドライブ活動

を実施している。

●委員会の活動● 行政視察の報告

議会では他自治体の先進事例を研究するため、行政視察を実施しています。9月定例会で承認を得た次の委員会が、閉会中に行政視察を行いました。

議会運営委員会 (11月8日～9日)

●高知県高知市・大阪府高槻市
…議会運営、議会改革などの取り組みについて

※詳しい視察内容を記載した報告書は、市役所本館8階の議会図書室や5階の市政情報コーナーでご覧いただけます。

インターネット中継

本会議の質問と答弁の様子は、インターネットで生中継と録画中継を行っています。各議員の質疑内容を詳しく知りたい方は市議会ホームページからアクセスしてください。議員、会派、ことばなどを検索して映像を選べます。

録画中継は発言日のおおむね1週間後から、会議録をホームページに掲載するまでの間、ご覧いただけます。



公明ひらつか 所属議員



小笠原 千恵美 議員



秋澤 雅久 議員

を本市でもできないか。
環境部長 食品ロスの削減などに有効な取り組みであるため調査研究していく。
問 懇親会で始めの30分と終わりの10分は料理を食べる時間に充て、食べ残しを減らす30・10運動が各地で行われているが、本市でも取り組めないか。
環境部長 食品ロス削減の取り組みとして実践してもらえるよう広くPRする。